

# 小学生に向けた 広島港国際コンテナターミナル現場見学会を開催しました

広島港湾・空港整備事務所

平成30年10月29日、広島港国際コンテナターミナルにて、呉市立昭和北小学校5年生116名の児童を対象に、“みなと”について幅広く関心をもってもらい、“みなと”の役割や重要性を知っていただくことを目的として「広島港国際コンテナターミナル見学会」を開催しました。見学会では、“みなと”の役割を学ぶ授業に加えて、実際の物流の現場やコンテナ内部の見学を行いました。児童からは、「いろいろな種類のコンテナがあることを知ることができたので、これからの勉強に活かしていきたい」との声がありました。



“みなと”の役割を学ぶ講義の様子



ガントリークレーンでコンテナを吊り上げる様子

○広島港国際コンテナターミナル  
平成15年3月に完成した水深14mを有する国際コンテナターミナルであり、広島港の外貿コンテナ物流基地の役割を果たしている。



リーチスタッカーでコンテナを持ち上げる様子



コンテナの内部を見学する様子